



## 自主防災会等の 住民組織の方に

- ▶ 防災訓練を活性化させたい
- ▶ 防災・減災の備えを充実させたい
- ▶ 地域の弱点を考える機会をもちたい



## 防災士の方に

- ▶ 資格を生かせる場所が見あたらない
- ▶ 防災・減災につながるボランティアがしたい
- ▶ 防災・減災を一緒に考える人を捜している



## 自治体の方に

- ▶ 地域防災力を充実したいが時間も人材も乏しい
- ▶ イベント開催の安心・安全を任せられるボランティアを捜している
- ▶ 地域自治会からの防災講習開催要望に応えきれない

**このようなご希望に、青森県防災士会は、  
ご提案とともに一緒に汗を流します！**



### 特定非営利活動法人 青森県防災士会 役員

相談役：工藤 淳(発起人・初代会長)  
 相談役：伊吹 信一(青森県議会議員)  
 顧問：阿部 廣悦(青森県議会議員)  
 顧問：山崎 力(参議院議員)  
 日本防災士会東北地方理事：高橋 英彦(仙台市在住)  
 代表理事：小山内 敬子(会長・北東北支部連絡協議会会長)  
 副代表理事：小笠原 正弘(事務局長)  
 副代表理事：三浦 一郎(青森支部長)  
 副代表理事：工藤 廣道(弘前支部長)  
 副代表理事：立花 悟(八戸支部長)  
 理事：田村 良輔(事務局長代理)  
 理事：黒石 初男(青森支部長代理)  
 理事：石郷 伸一(弘前支部長代理)  
 理事：夏坂 修(八戸支部長代理)  
 理事：新松 文明(むつ分室長)  
 理事：工藤 よし子(事務局次長)  
 理事：外崎 公歳(事務局次長)  
 理事：小山 郁(事務局次長)  
 理事：相馬 多一郎(青森副支部長)  
 理事：櫛引 素夫(青森副支部長)  
 理事：石川 義光(弘前副支部長)  
 理事：内山 清栄(弘前副支部長)  
 理事：種市 雅(八戸副支部長)  
 理事：白取 裕士(青森事業副委員長)  
 監事：小林 閣則(無線クラブ部長)  
 監事：鎌田 秀勝(青森副支部長)  
 青森支部顧問：花田 栄介(青森県議会議員)  
 青森支部顧問：中田 靖人(青森市議会議員)  
 弘前支部顧問：尾崎 寿一(弘前市議会議員)  
 八戸支部顧問：清水 悦郎(青森県議会議員)  
 八戸支部顧問：工藤 智幸(八戸地区社会福祉施設連絡協議会会長)



あの日は忘れない。

2011.3.11

ボランティア・スピリット

AOMORI  
BOUSAISHI  
SOCIETY



NPO(特定非営利活動)法人 日本防災士会 青森県支部

**青森県防災士会**

事務局：〒030-0965 青森市松森1丁目3-2  
リバーサイド7 1号 お天気会社「アップルウェザー」内

TEL 017-765-3241 FAX 017-765-3765

E-mail bousai@appleweather.jp

WEB <http://www.aomoribousaishi.jp/>

## 防災士とは？

防災士は「防災・減災」に取り組むボランティアです。

「自助」「互助」「協働」を原則として、「公助」との連携に努め、社会の様々な場で、減災を進め、防災力向上を図る活動を行うため、防災・減災に十分な意識・知識・技能を有するとして、NPO日本防災士機構に資格認定された人たちです。

機構の認定研修機関の講座を履修し、さらに救急救命講習を修了し「防災士資格取得試験」に合格した人たちです。



## 防災士の役割とは？

大災害発生時には、警察・消防・自衛隊などの公的な支援の到着が遅れるのが現実であり、災害規模が大きくなるほど救助・救援は遅くなります。市民は消防・自衛隊等の公的機関が機能発揮できるまでの概ね3日間を、各自の家庭、地域や職場において生命・財産の被害軽減に努める必要があります。避難・救助・避難所運営等を、自治体、公的な組織やボランティアと協働して行う必要も生じます。そのため、平時から、防災意識の啓発、大災害に備える互助・協働の活動訓練、防災と減災、救助等の技術錬磨に取り組み、大災害に備えなければなりません。

防災士はこのような防災・減災活動を地域と一体となって進めていきます。



## 防災士はどれくらいいるの？

主体的に研修を受けて認証を受けた防災士は、平成15年10月の第1号防災士から平成25年5月末までに、全国で65,239名（青森県：724名）生まれています。

## 防災士会とは？

さらに、もう一歩進んで、個人ではなく団体としてのパワーを発揮して効果的に防災・減災活動に取り組んでいこうと、平成16年10月に日本防災士会が設立されました。

加入している防災士は全国で5,735名（平成25年5月末、青森県：100名）が、資格取得後も継続して知識・技能の向上に努めています。

青森県防災士会（日本防災士会青森県支部）は平成18年2月に発足しました。20年の3月に、青森県防災士会は全国の防災士会で最初にNPO法人になりました。



## 防災士会会員は、何をするの？

地域防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与することを活動理念としています。

具体的には、地域の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策（復旧・復興活動を含む）等、地域の防災活動計画の策定、実施に関し、知識・経験を生かしてリード、アドバイスをやりたいと考えています。

そのために、会員互助のネットワークを構築し協力関係を確立するとともに、地域防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研鑽に不断に努力し、各自治体とも緊密な連携を図ってまいります。

防災・減災に関する次のような事項は、いつでも防災士会会員にご相談ください。

- ①自主防災組織等地域住民の防災・減災の事前の備え。（家庭における初期対応、備蓄品・防災器具の確保、家具固定、耐震補強、要援護者対策等の推進、防災訓練・防災活動計画の企画・立案・実施のアドバイスなど）

- ②発災直後から消防・警察等の公的機関の救援救助が開始されるまでの間、住民による被害軽減活動をサポート。（地域における災害直後の被災情報の収集及び伝達、安否確認、初期消火、被災者の救出・救護、避難誘導、避難所開設・管理・運営等）

青森県防災士会(NPO法人日本防災士会青森県支部)は、県下3つのブロックに分かれて活動しております。裏面の連絡先までお願いします。

## 青森県防災士会 (NPO法人日本防災士会青森県支部) は、何をするの？

- ①災害弱者（障害者・高齢者・子供）防災教室
- ②行政の総合防災訓練や学校の関連行事への参加
- ③県内市町村の「自主防災組織率」向上に取り組む
- ④災害・減災・備蓄対策の普及・啓蒙をすすめる

このような事業の実施・支援を行い、会員の防災・減災活動をサポートします。

私たちが取り組む「防災」をテーマとした活動に、一緒になって地域の防災・減災活動を進めませんか。

青森県防災士会に加入していない防災士や、主旨にご賛同いただけるなら防災士でない方も賛助会員として協力できます。賛助会員の年会費は一口1,000円となっていて何口でも協力できます。

以下の会社・団体から賛助会員として協力頂いています。

東日本電信電話(株) 青森支店／興陽電設(株) 青森支店／(株)トヨタレンタリース青森／お天気会社 アップルウェザー／(株)オオタ測量設計／(株)そうほく設計／伊東測量設計(株)／カミヤトータルプランニング／横内郵便局／こうだおやしの会／兼平義弘税理士事務所／(株)テクノル／北建測量設計(有)／南部シビルコンサルタンツ(株)／東奥日报社／RAB青森放送／ATV青森テレビ／青森演劇鑑賞協会／青森市佃 理容くどう／全労済 青森県本部／大一朝日・サポート／青森市 (株)今自動車／旬亭 浜まち／(株)サン・コーポレーション／(株)みちのく銀行